

皆さん、こんにちは。サラです。与謝野町の皆さんに向けて書く記事も今回が最後です。最後の記事を執筆していると考へると、とても寂しい気持ちになりますが、悲しい記事にはしたくないので、私が最近気づいたことについてお話ししたいと思います。

私の故郷は、アメリカで3番目に人口の多いシカゴという都市なのですが、私はそれほど大都市に感じたことがありません。なぜなら、シカゴは1つの大きな都市よりも、複数のコミュニティ（地域・共同体）が集まって構成されている都市だからです。例えば有名な建物、美術館、名所等が集中している観光者向けの地域があるかと思えば、道を一本挟んだ隣では路上コンサートや音楽フェスティバルをいたるところで行っている地域、芸術家が多く住みアート作品を販売する市場が多く存在する地域など、複数の異なるコミュニティが共存しています。それらは隣接していたとしても、コミュニティ毎に全く異なる生活様式、考え方を持つ人々が住んでおり、別のコミュニティに行くと異なる雰囲気を即座に感じ取ることができます。



シカゴで家族とともに

私は与謝野町に住んでいた2年間で、さまざまな素晴らしいコミュニティに出会うことができました。それらのコミュニティに出会い、迎え入れてもらった経験をもとに考へると、笑顔やあいさつこそが最も優れた友好的な表現ということに改めて気が付きました。

アメリカは多民族国家と言われており、無数のコミュニティで構成されている国です。それぞれが異なる生活様式や考え方、宗教を持っているため、すべてのコミュニティが友好的な関係を構築することは大変困難です。しかし、笑顔やあいさつは生活様式や考え方、さらには言語が異なるとしても、歓迎されていると感じさせてくれる素晴らしい表現方法であり、この表現方法を使うことで

より、友好的な関係を構築できると私は信じています。笑顔やあいさつという表現は初步的な友好的表現とも考えられますが、その初步的表現こそが最も効果的であり、友好的な関係を構築する際の基礎となるのです。

与謝野町で過ごした2年間は本当に素晴らしく、今後決して忘れるのではないでしょうか。与謝野町の皆さん、本当にありがとうございました。どうかお元気で。

時の贈り物 [第118回 ノー電気生活～ひいてみよう、石臼～]

そば、とうもろこし、どんぐり、豆、米、小麦、大豆、ひきこりません。前に隙間からこぼれ出でたり、大豆粉になります。ただ実際にやつてみると、同じ大豆でもスーパー、マーケットでなく木の実や根菜といったさまざまなお食事を、各家庭の石臼でひいて調理を使いました。きな粉は煎った大豆をひくと大豆粉になります。ただ実際にやってみると、同じ大豆もなかつた昔には、穀物だけでもなつかず、材料やその状態ごとにひき方にコツがあり、家庭で脈々と伝え継がれてきたのでしょう。

三河内郷土資料室では、紹介の石臼を実際に回してきました。粉づくりが体験できるほか、さまざまな昔の道具に触れて楽しむことができますので、ぜひお越しください。



合わせる面に凹凸の溝が刻まれた石臼

おうちでクリスマス

今年もクリスマスはおうちで過ごすという方が多いのではないでしょうか？ クリスマスを迎えるために気分が盛り上がる本を紹介します。

『クリスマスのハンドメイドBOOK クリスマス飾りからプレゼントまで』



おうち時間で素敵なおうちでクリスマスを迎える準備を。雑誌『コットンフレンド』に掲載されたクリスマスにまつわる小物の作り方を写真やイラストで分かりやすく説明した1冊。手作りの飾りで思い出に残るクリスマスにしてみましょう。

『きょうりゅうたちのクリスマス』

ジェイン・ヨーレン マーク・ティーグ／小峰書店



今日はクリスマス。うきうきわくわくする気持ちは恐竜も同じ。いつまでも寝ないでツリーの飾りをとって遊んだりと大暴れ。サンタさんはいい子のところにしかやって来ないので、恐竜のところに来てくれたのでしょうか？

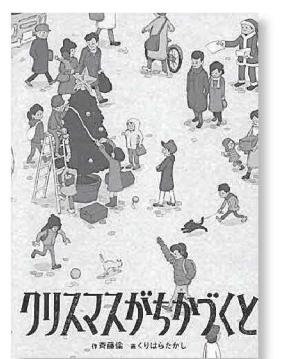
『ピーターラビットのクリスマス 25の物語のアドベント』 レイチェル・ボーデン 長友恵子／文化学園文化出版局



映画化にもなった「ピーターラビット」が、12月1日から25日まで、どんなクリスマスを楽しみにして過ごすのかを1日に1話ずつ小さな物語が綴られた1冊。クリスマスに関するお菓子や遊びも紹介されています。

『クリスマスがちかづくと』

齊藤倫 くりはらたかし／福音館書店



毎年おとうさんもおかあさんも家にいないクリスマスが大嫌いだったセロ。ある日セロはクリスマスにまつわるお父さんの秘密を知ります。みんなが楽しみにしているクリスマスを守るためにセロがとった行動とは？ 温かな気持ちになる1冊。

- 一般書 ●『認知症世界の歩き方』 寛裕介／ライツ社 ●『海と地域を蘇らせるプラスチック「革命」』 グンター・パウリ／日経BP
●『賞状の書き方』 前田篤信／日貿出版社 ●『皇位継承事典』 吉重丈夫／PHPエディターズ・グループ ●『マンガでよくわかるアドラー流子育て』 宮本秀明／かんき出版社

- 児童書 ●『ごっつあん！ うまいもんずもう』 岩田明子／偕成出版社 ●『こねこのワインクルとクリスマスツリー』 ルース・エインズワース／福音館書店 ●『会えるかも!? 妖怪ずかん』 よしながこうたく／あかね書房 ●『すずりくん』 青柳貴史／あかね書房 ●『かせいじんのおねがい』 いとうひろし／童心社 ●『12月の夏休み』 川端裕人／偕成社

Information

年末年始期間の開館状況のお知らせ

図書館の年末年始にかけての開館状況は以下のとおりです。

- 休館日 12月28日（火）～令和4年1月4日（火）
■ 年内開館最終日 【本館・加悦】12月26日（日）
【野田川】12月27日（月）

■ 新年開館初日 【全館】令和4年1月5日（水）

※ 令和4年1月10日（祝）は、本館・加悦分室は休館、野田川分室は開館しています。祝日と休館日（本館・加悦分室は月曜日、野田川分室は火曜日）が重なる場合は、休館日となりますのでご注意ください。休館日と重ならない祝日は、通常どおり開館しています。

●問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087

●開館時間／午前10時～午後6時 ●休館日／毎週月曜（本館・加悦分室）、毎週火曜（野田川分室）、毎月最終木曜（共通）